

# 宗岡中だより



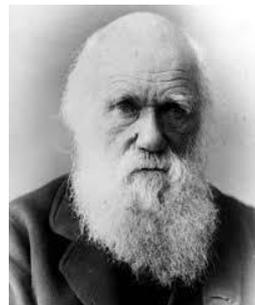
7月号 令和2年7月1日(水)  
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

## 「梅雨晴に 部活の活気 戻り来る」

校長 佐藤哲浩

「生き残る種とは最も強いものではなく、最も知的なものでもない。生き残るのは変化に最も適応したものだ。」(It is not the strongest of the species that survives, nor the most intelligent that survives. It is the one that is most adaptable to change.) この言葉は、進化論で有名なチャールズ・ダーウィンの名言です。

百年に一度のパンデミックといわれる新型コロナウイルスの感染拡大。日本では少しずつ収束傾向にあります。依然として都市部では感染者が微増しており、2次感染、3次感染が懸念されています。また世界的規模で見ると、中南米、アフリカへ感染が急拡大しており、一向に収束の兆しが見えません。誰がこんな世の中になることを予想できたでしょうか。これからも先行き不透明で世の中がどう変化していくのか読めません。しかしながら、人間社会はこの世の中に適応していくしかないのかもしれない。



話は変わって、先週から通常の教育活動が始まりました。教室訪問で生徒の様子を観察していると、友だちと一緒に学習できる喜びを感じているように見えます。放課後の部活動にも活気が戻ってきました。また、学校生活が3ヶ月間中断し、普通の学校生活の大切さ、給食の有難さを改めて生徒・保護者・教職員も痛感しているのではないかと思います。そんな中、体育の授業などを見ていると、多くの生徒は身体能力が間違いなく落ちています。国は「Stay home」を呼びかけていたので致し方ないのですが、体育の授業、部活動で少しずつ負荷を上げていき、本来の体力に早く戻してほしいと思います。学校としても骨折や肉離れ、熱中症に十分に配慮して指導していく予定です。

一方、今後の教育活動ですが、本校の教育活動を検討する運営委員会で、国や県の方針が変更する中、何度も行事の精選と授業時間の確保の検討を重ねてきました。授業(学習)は教育活動の柱であることは、誰も異論がないと思いますが、学校行事から学ぶこと、学校行事で活躍できる生徒を大切にしたいという思いから、両者のバランスを保ちながら以下のように実施していく予定です。①長期休業の短縮、行事の精選を行っても、各学年とも授業時間が50時間前後不足しているため、7月から2月まで月2回程度土曜授業を実施します。②体育祭・文化祭は規模を縮小して開催します。各学年の校外行事(フィールドワーク、スキー林間、修学旅行)は予定どおり実施します。③文化祭・学校公開日の振替は行わず授業を実施します。我々教職員も限られた時間の中で、教育活動を推進して参りますので、保護者の皆様におかれましてもご理解の程よろしくお願いたします。